

# 「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 地域学校協働活動の取組事例

## 「体験活動の重視」を意図した地域・学校・家庭との連携活動(岩手県 田野畑村)

### 取組の概要や経緯

「村づくりは人づくり、人づくりは教育から」を柱に、地域ぐるみで子供を育てることをすすめている。そのしくみの一つが学校支援地域本部であり、地域・学校・家庭が連携を図りながら地域に伝わる伝統行事や伝統芸能の伝承、地場産業の学びの場づくりなど、体験活動の充実に取り組んでいる。



### 内容

学校支援地域本部を教育委員会に設置し、学習支援コーディネーターを中心に村内小中学校のニーズを踏まえた協働活動を実施している。

小学校では、地域住民を講師とし、大豆の生産から豆腐作りまでの一連の学習に取り組んだり、中学校では、学習支援コーディネーターが職業体験に深く関わるなど、「地域を学び生き方を考える」キャリア教育にもつながっている。

また、平成22年に村内の小学校が1校に統合されたが、旧小学校区で実施していた伝統芸能の伝承にも力を入れている。



### ポイント

- ①教育委員会内に学校支援地域本部を設置し、学習支援コーディネーターが村内全ての小中学校と連携を図っている。
- ②伝統芸能の伝承等において、旧小学校区の自治会との連携のもと、地域住民の力を得て活動の充実（練習・発表機会の確保等）を図っている。

### 成果

- ・ 地区自治会との連携を図ったことで、地域人材と地域特性が生きる活動を展開することができた。
- ・ 教育委員会内に学校支援地域本部が設置されていることにより、学校と地域の協働活動について行政も適時把握でき、それぞれの役割を充実させることができた。
- ・ 学校のニーズに応じながら、体験活動の充実を図ることができた。

### 今後の方向性

- ・ 地域特性を生かしながら、地域学校協働活動を推進していく。
- ・ 地域住民の学びを一層取り込みながら学校のニーズに応え、「社会に開かれた教育課程」の具体に取り組んでいく。

